

# 地区部会活動再開に向けてのガイドライン

## 1 基本的な感染症対策を実施する

### ●体調不良の方（従事者・参加者とも）は参加を自粛する

・発熱等（37.5℃以上もしくは、平熱より1℃以上高い）の風邪の症状がみられる時や体調がすぐれない時は参加を控えてもらう。

### ●感染予防をする

・会場では、手洗いや手指の消毒を行う。

・特に施設内ではマスクの着用、咳エチケットを徹底する。

### ●3つの密（密集・密接・密閉）を回避した上で活動する

・人と人との距離の確保（できるだけ2m以上、最低1m）

・人数を制限する等、密を避ける工夫をする。

・諸室は机1台につき1人での使用とし、定員は原則、1/2の人数として利用するなど会場を広く使う。



## 2 参加者に協力を求める事項

### ●協力を求めること

・基礎疾患のある方は参加を控えていただく。

・マスクを持参し、着用する。

・水分補給用の飲料は各自持参してもらう。

・手をふくためのタオルを持参する。

・施設利用前に手指を消毒する。

・当面は、大きな声での会話や高唱を避ける。

・活動終了後の会話は控え、できるだけ速やかに解散する。

・感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従う。

・2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。

### ※ 注意 ※

高温や多湿といった環境下でのマスクの着用は、熱中症のリスクが高まるおそれがあるため、屋外で人と十分な距離（2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。

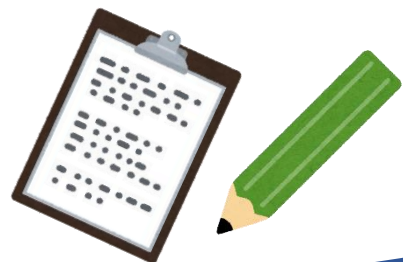
また、マスク着用時は、強い負荷の運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心掛けましょう。

## 3 活動日の参加者を把握する

### ●参加者名簿を作成

・現状、作成しているもので構いませんので連絡先を把握する。

・感染者が出た場合に追跡を可能にするための措置として、主催者が2週間は保管する。



## ● ふれあい・いきいきサロン

- ・食事の提供は避ける。
- ・湯茶は使い捨ての紙コップ、茶菓子は個包装のものを提供する。
- ・グラウンドゴルフでは、道具を共有しない。
- ・屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずし、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をする。

## ● ふれあい・散歩クラブ

- ・少人数や空いた時間、場所を選び実施する。
- ・他の人との距離を確保する。
- ・すれ違うときは距離をとる。
- ・屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずし、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をする。

## ● ふれあい食事サービス

- ・ふれあい食事サービスは7月から9月まで夏季休止期間のため10月以降の再開になります。再開に向けての留意点は今後の動向を踏まえて別途お知らせいたします。

## ● 見守り活動

- ・電話や外、玄関越しからの見守りを主とし、対面はなるべく避ける。
- ・対面による場合は、マスクを着用し、2mの間隔をあけて長時間の会話は避ける。

## ● 支え合い活動

- ・利用者はもとより、活動する方も3密を避けて活動できるものに限定する。

## ● ふれあい・子育てサロン

- ・おもちゃは、貸出し・共有を避けて持参してもらう。
- ・子ども用のバスタオルは参加者に持参してもらう。
- ・室内での飲食は、ミルク、水分補給以外は控えてもらう。
- ・おむつは、持ち帰ってもらう。
- ・熱中症や窒息のリスクもあるため2歳未満の子どもはマスク不要(日本小児科医会)
- ・当面、季節の行事(密になる・道具の共有など)は中止する。

## ● ボランティア講座

- ・双方向での会話はしない。
- ・グループワークはしない。
- ・会場は教室形式とし、講師と参加者の距離を十分にとる。

## ● 広報紙の発行

- ・打合せは、メールや電話等で行い、集まる場合はできるだけ少人数にする。

## ● 不特定多数が集まる行事やイベント

- ・開催の規模については、屋内100人以下、かつ収容定員の半分以下、屋外200人以下、人と人との距離を十分確保(できるだけ2m以上)できることを目安としてください。
- ・開催にあたっては、その規模に関わらず、①「3つの密」が発生しない席配置や「人と人との距離の確保」、②「マスクの着用」、③参加者名簿を作成して連絡先等を把握しておくことなど、基本的な感染防止策を講じてください。
- ・リスクへの対応が整わない場合は、中止又は延期するなど、慎重な対応をお願いします。

## 参考

これまで集団感染が確認された場に共通する「①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離での会話や発声が行われる」という3つの条件。また、これ以外の場であっても、人混みや近距離での会話、特に大きな声を出すことや歌うことにはリスクが存在すると考えられています。激しい呼吸や大きな声を伴う運動についても感染リスクがある可能性が指摘されています。